

北海道爬虫両棲類研究会第7回大会

北海道爬虫両棲類研究会では下記の予定で、一般聴講も可能な基調講演と研究発表会を行います。北海道ならではの両生類や爬虫類の様々なお話、現状などをお伝えする会となっております。午前の講演では「日本産カメ類の未来」について東海大学生物学部・講師の鈴木大氏がお話して下さいます。そして「動物園での爬虫類保全の取り組み（仮）」について札幌市円山動物園・飼育員の本田直也氏がお話して下さいます。

場所

札幌市円山動物園 動物園プラザ （札幌市中央区宮ヶ丘3番地1）

1月27日（日） 開場:9:30 開演:10:00～15:10

10:00～10:10 開会のあいさつ

10:10～10:45 東海大学生物学部・講師 鈴木大氏

「日本産カメ類の未来」

10:50～11:20 札幌市円山動物園・飼育員 本田直也氏

「動物園での爬虫類保全の取り組み（仮）」

11:20～11:35 質疑応答

11:40～12:00 ハープソン 2018 結果報告・表彰式

12:00～13:00 休憩

（12:05～12:25 北海道爬虫両棲類研究会総会：会員のみ）

13:00～15:00 研究発表6題 （裏面：発表番号①～⑥参照）

15:00～15:10 閉会のあいさつ

（15:10～16:00 は虫類・両生類館において観覧：会員と発表者のみ）

料金

聴講無料ですが、動物園入園料を各自ご負担お願い致します。（駐車場：動物園の駐車場 700円／日）

懇親会（18:00～ 予算・4000円程度を予定）

会場：四季の味コロポックル円山店（北海道札幌市中央区大通西23-1-1 円山公園 MS1F） 011-611-4646

<https://koropokkuru-maruyama.gorp.jp/>

事前に参加の連絡をしていない場合、なるべく早く研究会にご連絡下さい。当日昼前が最終締切ですが、その際人数が一杯になっていて受け付けられない場合があります。

【講師紹介】

鈴木大氏（すずきだい）神奈川県川崎市生まれ。東海大学生物学部・講師。カメ類の進化史および保全に関する研究や、爬虫類を中心とした系統分類学の研究を主に行っている。特に遺伝的変異に基づく種内変異から、生物の進化史の解明を目指している。

本田直也氏（ほんだなおや）1976年札幌生まれ、1996年より円山動物園勤務。爬虫類、両生類、猛禽類担当、学芸員。NPO法人日本放鷹協会認定諏訪流鷹匠。2002年にヨウスコウワニの繁殖で「高碕賞」、2007年に市民ZOOネットワーク「動物園人賞」を受賞。自宅でも犬猫をはじめ、爬虫類や猛禽類など多数の動物を管理しており、仕事における「稽古場」として機能している。

研究発表題（当日に増減及び順番の入れ替えの可能性あり）発表 12 分、質疑応答 3 分 発表者に○

①北海道上士幌町で確認されたキタサンショウウオの生息状況(概報) / ○照井滋晴 (PEG)

②北海道東部の温泉地帯におけるへび類の生息状況 / ○永井智也 (東邦大大学院・理学研究科)

③エゾアカガエルの卵塊の中心温度 (仮) / ○高井孝太郎 (東海大・生物)

④カエル捕獲法としての釣りの可能性 / ○徳田龍弘 (ばいかだ WILD-PHOTO)

⑤北海道・東北地方におけるヒガシニホントカゲの分布記録について

/ ○塚本誠太 (北海道爬虫両棲類研究会)

⑥アズマヒキガエルの孵化幼生が在来両生類の幼生に与える影響

/ ○岸田 治 (北大・北方圏 FSC・苫小牧研究林)・山口 彩 (北大・院・環境科学)

問い合わせ先

〒005-0021 北海道札幌市南区真駒内本町 7-4-27 北海道爬虫両生類研究会事務局 徳田宛

syomu@koke-koke.com

なお、大会当日に受付で配布するプログラムには、要旨集も添付されます。